

# 突撃!! 研究室訪問!! の巻

・ヴァルゴ  
・いちご  
・K

今月も載せていきましょう！ルポルター——ージュ!!!今回はタイトルにもある通り幼保の講師である天間先生、鈴木先生の研究室に突撃取材をしてきました！

## 天間美由紀先生

Q1.授業を教える立場として大変なことは何でしょうか？

A.「これまでの仕事が1対1だったけど、集団なので、いかに計画通りにやるか、どうしたらわかりやすく伝わるかなと言うことを試行錯誤しています。」

Q2.何をやりがいとしていますか？

A.「他の学校生活でみんなが楽しそうにしている、楽しそうにしてほしいという思いをやりがいにしています。」

Q3.授業を通して、皆にどのような人になって欲しいですか？

A.「自分の気持ちや考えを、人に伝えられるようになってほしい、人生を楽しみ、仕事で潰れないようになって欲しい、どんなことでもトライして欲しいね。」

生徒のことを一番に考えている先生はとても素敵だなと感じましたね。就職した際には、授業で学んだことを活かしていきたいようにしていきたいものです。先生が言った通り、何事にも挑戦し、頑張りたいと思いました!!

## 鈴木寛康先生

Q1.教える立場として大変なことはなんですか？

A.「1つ目は、授業の内容がみんなの役に立つかどうかを決めるのは準備が8割だと思うので、伝えたいことを実際の保育の場面をリアルに想像できるように伝える工夫をすることや、教材を考えることが大変というか時間を使います。2つ目は、残りの2割の部分で、授業中に1人ひとりの反応や表情などから、今伝わっているか、わかったかを感じ取って、その場で授業内容の順番を変えたり話し方を変えたりすることは、大変というか神経使います。」

Q2.何をやりがいとしていますか？

A.「う～ん、授業はだいたい100%うまくいったと納得できることはないのですが、やっぱり、みんなの「なるほど」「わかった」「できた」という瞬間を発見した時が一番うれしいというかやりがいを感じます。そして、私の専門の中で、たくさんのおもしろいを共有できたらうれしいです。」

Q3.先生の受け持つ授業を通して皆にどんな人になって欲しいですか？

A.「第1に、優しい人になってほしいです。優しいという字は優れているという字でもあるように、優しくできる人というのは優れた人だと思います。人の良い所を見つけることができる、課題となるところがあればどうすれば良くなるかを一緒に考えるられる優しい人になってほしいです。安易なほうの易しいではなく。そのためにも、授業を通し人を支える知識や技術を磨けるようにしていきたいです。第2に、簡単には折れない「しなやかな鋼メンタル」を持った人になってほしいです。これから先いいことも大変なこともある中で、時には受け流し、時にははね返し、時には吸収する柔軟な心の持ち主であってほしいと思います。」